



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4613		
科目名	危機管理特殊研究 3		
担当教員	勝股 秀通		
対象学年	4年	開講学期	前期
曜日・時限	水 4		
講義室	1211	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード 学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1－E 〔学識・専門技能〕 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4－F 〔探求力・課題解決力〕 問いを設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP5－J 〔創造的挑戦力・達成力〕 コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 DP6－K 〔表現力・対話力〕 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 DP7－L 〔協働力・牽引力〕 集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。 DP8－M 〔省察力〕 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■CRコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモングループリック（CR）との関連 E1 学識と専門技能（15%） F1 探求と論拠（20%） F2 課題解決（10%） J1 継続的学修基盤（10%） K1 ライティング・コミュニケーション（10%） K2 オーラル・コミュニケーション（10%） L1 チームワーク（15%） M1 統合的・応用的学修（10%）		
教員の実務経験	担当教員は長年、全国紙の新聞記者として外交・防衛など安全保障問題を専門に取材し、報道に携わってきたほか、様々な事件や事故、自然災害の現場取材も豊富で、簡潔かつ平易、そして何よりもわかりやすい表現や言葉で多くの人々に情報を伝えるかについて熟知しています。危機管理学部での学修を締めくくる特殊研究3と4では、ほぼすべての授業回において、そうした実務経験に基づき、研究生が論文をまとめる上で必要なノウハウ、具体的には読みやすさや平易な言葉の使い方などを含め具体的に指導します。特に8回目から11回目の研究計画の修正に関しては、実務経験に基づくアドバイスを徹底します。		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		

科目概要・キーワード	危機管理に関する専門的な問題解決のために必要な知識やスキルを身に付けるための指導を行います。学生個人のキャリア形成につながるよう、学生自身が危機管理に関する具体的な業務、資格などに関する専門的な研究を行い、実務教員が中心となり実践的な指導を行います。担当する実務教員が、自らの実務経験に基づいたテーマ科目を設定し、学生が自らのキャリア形成に役立つ科目を選択します。危機管理に関する知識や教養を養うだけでなく、危機管理において必須となるコーディネート、マネジメントに必要な調整能力を身に付けることを目標とします。ここでは、各自の研究テーマに基づいて立てた研究計画や、プレゼンテーションに対して研究指導を行います。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：現場を知る、自分の疑問を大切にすること	
授業の趣旨	■副題 「どうして」「なぜ」を大切にしよう ■授業の目的 自分で選んだ研究テーマに対して、研究生は多くの情報を収集するとともに、常にたくさんの「なぜ」や「どうして」を持ち、それを解決しながら、研究を進めることを目的とします。 ■授業のポイント 演習では「災害」や「情報」、「グローバル」など研究生の研究テーマごとにチームを作り、発表などを通じてお互いの進捗状況を確認し、刺激し合いながら進めていきます。	
総合到達目標	■選択した研究テーマについて、「なぜ」「どうして」の「解」が見つかるまで、あきらめずに調べ、理解することができる。 ・なぜこんなことが起きているのか。どうして改善されないのか。そうした疑問をたくさん持って研究に取り組むことができる。 ■研究テーマについて、インタビューやフィールドワークなどによって、個性ある論文作成を目指せるようになる。 ・論文作成の過程を通じて、問題解決のプロセスを提示できるとともに、簡潔かつ平易な表現による論文を作成することができる。	
成績評価方法	■研究発表（70%）適用ルーブリック E 1、F 1、F 2、J 1、K 2 （評価の視点） 研究テーマの研究計画と進捗状況に加え、人に理解させるプレゼンテーション能力も評価します。 （フィードバックの方法） 担当教員の実務経験を踏まえて、研究生の発表内容などについて、個別指導を行います。 ■授業参加度（30%）適用ルーブリック K 1、L 1、M 1 （評価の視点） 積極的に他の研究生の発表に対する支援（アドバイス）を行い、全体を牽引しようと試みているのかを評価します。 （フィードバックの方法） 授業中、もしくは授業後に適宜個別指導します。	
履修条件	研究テーマを掘り下げ、追求するためには、決して妥協しないこと。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 担当教員の実務経験に基づき、社会事象について様々な視点を提示するとともに、特殊研究3 & 4の進め方、研究計画の策定について説明します。なお、授業概要の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニングを取り入れる場合があります。（E 1、F 1） ③予習（120分） 特殊研究2までで立てた研究テーマについて、進捗状況などを踏まえて研究計画が立てられるように準備する。 ④復習（120分） 現場での調査やインタビューの有無などを含め、研究計画の作成に取り掛かる。
	2	①授業テーマ 研究テーマの進捗状況についての発表 I ②授業概要 研究生は研究テーマについて何をどこまで進めているのかについて発表する。担当教員はその内容について実務経験を活用しながら講評、指導します。なお、授業概要の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニングを取り入れる場合があります。（E 1、F 1、F 2、J 1、K 2）

	③予習（１２０分） 発表のために、各自発表資料を作成する。 ④復習（１２０分） 発表に対する指摘を踏まえて、研究計画の策定に着手する。
3	①授業テーマ 研究テーマの進捗状況についての発表Ⅱ ②授業概要 研究生は研究テーマについて何をどこまで進めているのかについて発表する。担当教員はその内容について実務経験を活用しながら、講評、指導します。なお、授業概要の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニングを取り入れる場合があります。（E 1, F 1, F 2, J 1, K 2） ③予習（１２０分） 発表のために、各自発表資料を作成する。 ④復習（１２０分） 発表に対する指摘を踏まえて、研究計画の策定に着手する。
4	①授業テーマ 研究計画の発表Ⅰ ②授業概要 研究生（毎回３人程度）はそれぞれの論文の目次に沿った形で、研究計画を発表する。担当教員はその内容を講評し、指導します。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにオンライン授業取り入れる場合があります。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。（E 1, F 1, F 2, J 1, K 1, K 2） ③予習（１２０分） 研究計画発表のためのパワーポイントを作成する。 ④復習（１２０分） 研究計画を修正し、パワーポイントを推敲する。
5	①授業テーマ 研究計画の発表Ⅱ ②授業概要 研究生（毎回３人程度）はそれぞれの論文の目次に沿った形で、研究計画を発表する。担当教員はその内容を講評し、指導します。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにオンライン授業取り入れる場合があります。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。（E 1, F 1, F 2, J 1, K 1, K 2） ③予習（１２０分） 研究計画発表のためのパワーポイントを作成する。 ④復習（１２０分） 研究計画を修正し、パワーポイントを推敲する。
6	①授業テーマ 研究計画の発表Ⅲ ②授業概要 研究生（毎回３人程度）はそれぞれの論文の目次に沿った形で、研究計画を発表する。担当教員はその内容を講評し、指導します。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにオンライン授業取り入れる場合があります。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。（E 1, F 1, F 2, J 1, K 1, K 2） ③予習（１２０分） 研究計画発表のためのパワーポイントを作成する。 ④復習（１２０分） 研究計画を修正し、パワーポイントを推敲する。
7	①授業テーマ 研究計画の発表Ⅳ ②授業概要 研究生（毎回３人程度）はそれぞれの論文の目次に沿った形で、研究計画を発表する。担当教員はその内容を講評し、指導します。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにオンライン授業取り入れる場合があります。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。（E 1, F 1, F 2, J 1, K 1, K 2） ③予習（１２０分） 研究計画発表のためのパワーポイントを作成する。 ④復習（１２０分） 研究計画を修正し、パワーポイントを推敲する。
8	①授業テーマ 研究計画の修正についての発表Ⅰ ②授業概要 研究生は１回目の発表後、研究テーマの推敲と絞り込みなど研究計画をどのように修正しているのかについて発表する。担当教員は実務経験に基づき、研究で不足している視点や項目について指摘すると同時に、それらを絞り込みながら指導します。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにオンライン授業取り入れる場合があります。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。（E 1, F 1, F 2, J 1, K 1, K 2, L 1）

	③予習（120分） 発表に備えて研究テーマについての報道など情報を収集し、テーマと計画をブラッシュアップする。 ④復習（120分） 2回目の発表に備えて、パワーポイントを作成する。
9	①授業テーマ 研究計画の修正についての発表Ⅱ ②授業概要 研究生は1回目の発表後、研究テーマの推敲と絞り込みなど研究計画をどのように修正しているのかについて発表する。担当教員は実務経験に基づき、研究で不足している視点や項目について指摘すると同時に、それらを織り込みながら指導します。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにオンライン授業取り入れる場合があります。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。（E1, F1, F2, J1, K1, K2, L1） ③予習（120分） 発表に備えて研究テーマについての報道など情報を収集し、テーマと計画をブラッシュアップする。 ④復習（120分） 2回目の発表に備えて、パワーポイントを作成する。
10	①授業テーマ 研究計画の修正についての発表Ⅲ ②授業概要 研究生は1回目の発表後、研究テーマの推敲と絞り込みなど研究計画をどのように修正しているのかについて発表する。担当教員は実務経験に基づき、研究で不足している視点や項目について指摘すると同時に、それらを織り込みながら指導します。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにオンライン授業取り入れる場合があります。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。（E1, F1, F2, J1, K1, K2, L1） ③予習（120分） 発表に備えて研究テーマについての報道など情報を収集し、テーマと計画をブラッシュアップする。 ④復習（120分） 2回目の発表に備えて、パワーポイントを作成する。
11	①授業テーマ 研究計画の修正についての発表Ⅳ ②授業概要 研究生は1回目の発表後、研究テーマの推敲と絞り込みなど研究計画をどのように修正しているのかについて発表する。担当教員は実務経験に基づき、研究で不足している視点や項目について指摘すると同時に、それらを織り込みながら指導します。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにオンライン授業取り入れる場合があります。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。（E1, F1, F2, J1, K1, K2, L1） ③予習（120分） 発表に備えて研究テーマについての報道など情報を収集し、テーマと計画をブラッシュアップする。 ④復習（120分） 2回目の発表に備えて、パワーポイントを作成する。
12	①授業テーマ 第2次研究計画の発表Ⅰ ②授業概要 研究生（毎回3人程度）は研究の進捗状況を踏まえて、夏期休暇中におけるフィールドワーク等の実施を含め最終的な研究計画を発表する。発表はパワーポイントによって行う。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにオンライン授業取り入れる場合があります。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。（E1, F1, F2, J1, K1, K2, L1, M1） ③予習（120分） 発表者はパワーポイントを準備する。その他の研究生は調査研究に取り組む。 ④復習（120分） プレゼンテーション資料を修正し、提出できるようにしておく。
13	①授業テーマ 第2次研究計画の発表Ⅱ ②授業概要 研究生（毎回3人程度）は研究の進捗状況を踏まえて、夏期休暇中におけるフィールドワーク等の実施を含め最終的な研究計画を発表する。発表はパワーポイントによって行う。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにオンライン授業取り入れる場合があります。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。（E1, F1, F2, J1, K1, K2, L1, M1） ③予習（120分）

		発表者はパワーポイントを準備する。その他の研究生は調査研究に取り組む。 ④復習（120分） プレゼンテーション資料を修正し、提出できるようにしておく。
	14	①授業テーマ 第2次研究計画の発表Ⅲ ②授業概要 研究生（毎回3人程度）は研究の進捗状況を踏まえて、夏期休暇中におけるフィールドワーク等の実施を含め最終的な研究計画を発表する。発表はパワーポイントによって行う。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにオンライン授業取り入れる場合があります。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。（E1, F1, F2, J1, K1, K2, L1, M1） ③予習（120分） 発表者はパワーポイントを準備する。その他の研究生は調査研究に取り組む。 ④復習（120分） プレゼンテーション資料を修正し、提出できるようにしておく。
	15	①授業テーマ 第2次研究計画の発表Ⅳ ②授業概要 研究生（毎回3人程度）は研究の進捗状況を踏まえて、夏期休暇中におけるフィールドワーク等の実施を含め最終的な研究計画を発表する。発表はパワーポイントによって行う。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにオンライン授業取り入れる場合があります。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。（E1, F1, F2, J1, K1, K2, L1, M1） ③予習（120分） 発表者はパワーポイントを準備する。その他の研究生は調査研究に取り組む。 ④復習（120分） プレゼンテーション資料を修正し、提出できるようにしておく。
関連科目	「危機管理基礎演習Ⅱ RMGT2602」（2年次後期配当） 「危機管理特殊研究1 RMGT4611」（3年次前期配当） 「危機管理特殊研究2 RMGT4612」（3年次後期配当） 「危機管理特殊研究4 RMGT4614」（4年次後期配当）	
教科書	特に指定しない。	
参考書・参考URL	研究生に適宜指示する。	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 開講時に告知します。その他の時間でもメール等で連絡を取り、研究室で対応します。	
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント15%：パブリックセキュリティ15%：グローバルセキュリティ15%：情報セキュリティ55% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学70%：法学30%	

